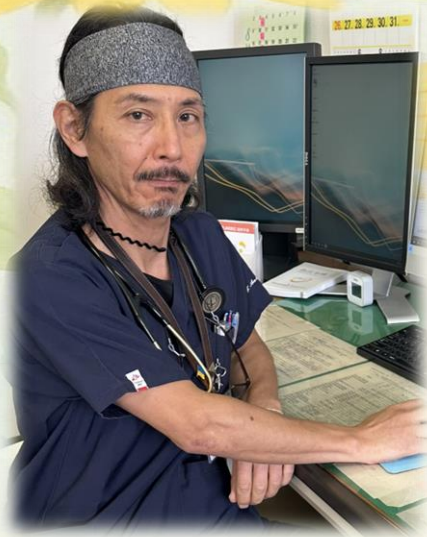


新ひだか町立病院コラム Vol. 65

発信日: R8. 7. 31

作成: 新ひだか町立病院

町立三石国民健康保険病院 隅 達則 医師 着任



【ごあいさつ】

皆さま初めまして。

7月 1 日付けで三石国保病院に院長として着任いたしました隅と申します。

どうぞよろしくお願いいたします。

皆さまご承知のとおり、現在当院は大変な過渡期を迎えておりますが、これは何も当院に限った話ではなく、我が国全体の医療が時代の流れの中で大きな変革期を迎えており、当院もその一端に過ぎません。

今後当院は三石地区唯一の医療機関として地域の皆さま方の健康と暮らしを支えるため、いかにして永続的に医療を提供し、より良い町づくりに貢献出来るのかを皆さま方と模索して行かねばなりません。

地域医療と暮らしの主役はあくまでも地域の皆さま方です。

「一寸の虫にも五分の魂」を旨に「小さいことからコツコツ」と、地域の皆さま方と共に「山椒は小粒でもぴりりと辛い」町の医療機関であり続けたいと願っております。

地域の皆さま方のご協力を心より願って止みません。

なお、病院ホームページに病院長挨拶を掲載しましたので、ご興味のある方はそちらもご覧ください。

院長のつぶやき

町立静内病院院長の小松です。

このたび、三石国保病院の院長に隅先生が着任されました。

隅先生は、小児科医として小児医療や小児救急に長年携わってこられました。現在は総合診療医として、子どもから高齢者まで幅広い世代の診療に対応されており、地域医療に必要な総合的な視点と豊富な経験をお持ちの先生です。また、フットワークが軽く、訪問診療にも積極的に取り組んでいただいております。

現在、新ひだか町をはじめ地域全体では、少子高齢化の進行や医療スタッフの確保問題など、町民の皆さまに提供する医療の質を維持することが年々難しくなっております。こうした状況に対応するため、三石国保病院では、来年度の診療所開設に向けて外来診療と在宅医療の充実を進めているところです。

隅先生の着任により、三石地区の医療はさらに充実し、地域の皆さまが安心して暮らせる環境づくりにつながるものと信じております。先生は、三石地区に生活の拠点を置かれておりますので、この地域に根差した医療を末永く担っていただけるものと思っています。